

命が軽いのです。

サバイバルナイフを買って「人を殺してみたかった」という感情から本当に犯行に及んでしまう若者。あるいは生きている実感を求めて、イスラム国(IS)に参加しようとする若者たち。人の命を一体なんやと思っているのでしょうか。人の命ですよ。

人の命が虫けらのように扱われるのが戦争であります。戦争は、人を殺すことを是とするもので、人から人の心を奪い去り、獣以下になりさがらなければならなくなるものです。戦後70年の今年、多くの戦争体験者が、日本軍の残虐だった行為を語っています。新聞やテレビの取材依頼に対して今まで口を閉ざしていた元兵士たち。自分の意志で無く上官からの命令からでありましょうが、自分たちのやってきた行為に対して、罪悪感が大きかったのでしょう。人に話したくないだけでなく、戦争の記憶を忘れ去りたいと願って生きてきたことでしょう。その彼らも90歳以上となり、戦争のむごたらしさを後世に伝えずして、この世を去ってしまっただけ、また過ちを繰り返してしまうのではという危惧からでしょうか、堰を切ったように多くの人々が戦争体験を語り始めました。

色々な話をまとめると、日本軍の無謀な戦い方、上司が部下を虫けらのように扱い、中国人や朝鮮人を虫けら以下に扱う。終戦後、復員船で日本に帰る途中、部下が上官を殺害して海に投げ捨てたと聞いたことがあります。多くの日本人が日本人(職業軍人)を恨んでいたのです。

一方、被害国である中国の蒋介石は、終戦時、「仇に報いるに恩を以てす」と中国人民を諭しています。ひどい目にあっても仕返しをせず優しくしなさいという意味で、孔子の論語の精神からくるものであります。日本が朝鮮のように南北に分割統治されずに済んだのは、蒋介石のお陰なのです。健全なる人間を育てる教育がいかに大切かということを感じたいします。

もう社会人になった卒業生の田口晃裕くん、桜井雅弘くん、原田弘毅くん、吉野翔太くんが、受験生にとカップラーメン3ケースとカロリーメイトを差し入れに来てくれました。明正の生徒は人を思いやる心があります。思いやりがあれば争いごとは起きませんよね。日本は法治国家ですが、その法を作るのは人なので、どいつのつまりは人によって支配されているようなもの。良識のある人を育てることが大切ですよ。



●連絡事項●

9月21日(月)、22日(火)、23日(水)は全クラス休塾。
ブロードバンド及び自習は可能です。上手に塾を活用してください。

●各種検定●

算数/数学検定 ※検定日が変更になりました 検定日 10月3日(土) しめきり日 8月31日(水)

英語検定 検定日 10月11日(日) 二次試験日 11月8日(日) しめきり日 9月9日(水)

漢字検定 検定日10月25日(日) しめきり日 9月19日(土)

日本語検定 検定日 11月7日(土) しめきり日 9月30日(水)

各種検定申込用紙が必要な生徒は申し出てください。

※検定申込用紙に検定料を添え、提出してください。締切日を過ぎた申し込みは受け付けできません。